

整理番号 2022M-013  
補助事業名 2022年度 ロボット産業・技術振興に関する調査研究等 補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 日本機械工業連合会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

「ロボット大賞」表彰事業は、2006年度より経済産業省と当会の共催により実施してきたが、2016年度の第7回ロボット大賞表彰からは、新たに共催者として総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省が加わり、より充実したものとなった。

表彰位は、経済産業大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、中小企業庁長官賞、日本機械工業連合会会長賞、優秀賞、審査員特別賞である。

本事業は優秀事例を表彰することにより①ロボット関係者にモチベーションを与える②ベストプラクティスの紹介によりロボット技術の普及を図る③ロボットの社会実装の促進④研究開発の高度化⑤人材育成等を目的としている。最終的には社会課題の解決や国際競争力の強化を通じて、製造現場から日常生活まで様々な場面でロボットが活用され、ロボットによる「生活の質の向上」が実現されることを目的としている。

### (2) 実施内容

#### 【第10回ロボット大賞表彰の実施】

##### ① ロボット大賞審査・運営委員会及びロボット大賞ノミネート委員会の開催

ロボット大賞審査・運営委員会を計3回開催し、応募案件の一次審査（書類審査）⇒現地調査⇒プレゼンテーション審査を行い各表彰位案の決定を行った。

ノミネート委員会は優れた案件を積極的に発掘する意図から設置され、18件のノミネート（発掘・応募推薦）を行った。



第1回審査・運営委員会



第2回審査・運営委員会  
(プレゼンテーション審査を含む)

② 4月11日～6月3日 第10回ロボット大賞 募集

③ 応募数：112件

募集分野、募集部門ごとの各々の応募数は以下のようであった。

分野：(A) ものづくり分野：30件

(B) サービス分野：25件

(C) ICT利活用分野：11件

(D) 介護・医療・健康分野：10件

(E) 社会インフラ・災害対応・消防分野：19件

(F) 農林水産業・食品産業分野：17件

部門：(1) ビジネス・社会実装部門：29件

(2) ロボット応用システム部門：19件

(3) ロボット部門：33件

(4) 要素技術部門：6件

(5) 高度ICT基盤技術部門：5件

(6) 研究開発部門：14件

(7) 人材育成部門：6件

④ 第10回ロボット大賞 受賞一覧

(<https://www.robotaward.jp/winning/index.html>)

⑤ 表彰式の開催（10月19日）

Japan Robot Week 2022（東京ビックサイト）のメインステージにて表彰式を開催。



経済産業大臣賞表彰の様子



受賞者記念撮影

## 2 予想される事業実施効果

### ① ロボットによる「生活の質の向上」への貢献

本表彰事業の最終的な目的として、製造現場から日常生活まで様々な場面でロボットが使用され、ロボットによる「生活の質の向上」が実現されることを目指している。

(2) -③「応募数」に見られるように、一部偏りがある部門はあるが、概ね、応募は6分野・7部門から満遍なく得られている。また(2) -④「受賞一覧」に見るように、受賞したロボットは、生活の広い分野・部門に渡っており、「生活の質の向上」に資するロボットを実現している。

### ② ロボット関係者に「ロボット大賞」受賞を目指すモチベーションを与える

応募者アンケートによると、ロボット大賞表彰事業への評価として、(1)日本・世界に認知いただくことにより日本のロボット産業全体の底上げに期待する (2)日本のロボットの取組みを広く知らしめるために有用な取組み (3)ロボット大賞はロボット需要の喚起を促すと共に、開発者のモチベーションを高める非常に良い制度である (4)多様なシステム・ロボットに対する取組みを表彰対象としており、非常に面白い企画である 等が上げられている。

優秀ロボットを表彰することにより、開発意欲の向上、ロボットユーザーの導入意欲向上など、ロボット関係者のモチベーションアップに貢献している。

### ③ 広く世間に最先端のロボット技術を紹介

「ロボット大賞」受賞ロボットは、ロボット大賞HP、主催者のHPなどで広く世間に広報されている。

【ロボット大賞HP】

(<https://www.robotaward.jp/>)

### 3 補助事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

##### ① 第10回ロボット大賞 募集リーフレット 14,000部

[https://www.robotaward.jp/news/pdf/10th\\_Leaflet.pdf](https://www.robotaward.jp/news/pdf/10th_Leaflet.pdf)



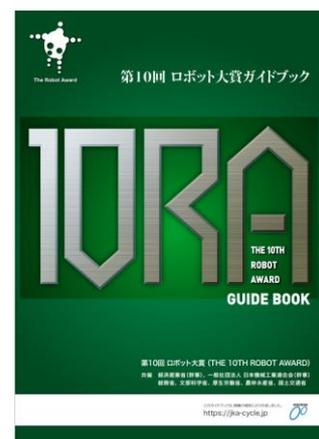
##### ② 第10回ロボット大賞 広報ポスター 200部

[https://www.robotaward.jp/news/pdf/10th\\_poster.pdf](https://www.robotaward.jp/news/pdf/10th_poster.pdf)



##### ③ 第10回ロボット大賞 ガイドブック 4,000部

[https://www.robotaward.jp/winning/prize/pdf/Robot%20Award%20GB%202022\\_Re\\_s\\_all\\_1118.pdf](https://www.robotaward.jp/winning/prize/pdf/Robot%20Award%20GB%202022_Re_s_all_1118.pdf)



④ 第10回ロボット大賞 事業報告書 45部

<http://www.jmf.or.jp/content/files/houkokusho/reiwa4nendo/10roboaw.pdf>



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本機械工業連合会(ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ)

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園三丁目5番8号 機械振興会館5階

代表者： 会長 東原 敏昭 (ヒガシハラ トシアキ)

担当部署： DX・技術部 (デジタルトランスフォーメーション・ギジュツブ)

担当者名： 益子 龍太郎 (マシコ リュウタロウ)

電話番号： 03-3434-5383

F A X： 03-3434-6698

E-mail： [mashiko.ryutarou@jmf.or.jp](mailto:mashiko.ryutarou@jmf.or.jp)

U R L： <http://www.jmf.or.jp/>